

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		準決勝	
日時	平成29年8月6日 (日)		10:20 ~
会場	北海道立北見体育センター		
結果	旭川緑が丘	17 - 15 8 - 20 17 - 23 11 - 10 OT	北見北
	上川		オホーツク
	53		68
審判	主審	副審	

第47回北海道中学校バスケットボール大会



【ボックススコア】

緑が丘		上川						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	前野 和敬	×	12	2	3	0	1	4
5	高島 祥汰	×	9	0	3	3	4	3
6	鹿又 允綺							
7	蠣崎 将	×	15	0	3	9	7	3
8	山下 歩輝	/	2	0	1	0	0	0
9	松浦 太陽	×	4	0	2	0	2	0
10	小島 佑馬	/	0	0	0	0	2	2
11	山近 亜門							
12	相坂 彰人							
13	齊藤 蒼万	×	11	2	2	1	0	2
14	及川 隼							
15	大懸 奏太							
16	茂木 勇哉							
17	綿谷 怜凜仁							
18	今井 勘太							
HC	長谷川 猛							
合計			53	4	14	13	16	14

北見北		オホーツク						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	宮村 詩恩	×	25	2	8	3	6	3
5	吉野 涼	×	11	0	5	1	4	2
6	山田 陽大	×	0	0	0	0	0	3
7	元村 峻太	×	0	0	0	0	1	1
8	越田 大翔	×	18	1	7	1	14	5
9	鴨田 悠作	/	14	0	6	2	1	3
10	川辺 柊	/	0	0	0	0	0	0
11	浜口 大空							
12	細川 優斗							
13	鎌田 隆聖							
14	藤井 琉空	/	0	0	0	0	0	0
15	山腰 巧斗							
16	東海林 介稔							
17	加藤 颯							
18	田中 海聖							
HC	大浦 幸一							
合計			68	3	26	7	26	17

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【選評】

男子準決勝は、旭川緑が丘と北見北の対戦となった。どちらも北海道選抜のメンバーを要するチームである。旭川は、堅実にディフェンスを頑張り、相手エースの#8越田をどのように抑えるのか、試合前から非常に注目されるカードである。

旭川緑が丘は、#4、#5、#7、#9、#13。北見北は、#4、#5、#6、#7、#8でスタート。お互いトランジションの早い見ごたえのある試合展開を繰り広げる。旭川緑が丘は#4、#7を中心としたドライブを決める。一方、北見北は、#5、#4の1対1を中心に攻めるが、なかなか決まらない時間帯が続く。苦しい時間帯に北見北#8がバスケットカウントを決めてなんとか粘るが、緑が丘の勢いはなかなか止まらない。残り1分緑が丘#13の3ポイントで引き離しにかかるが北見北も#4の3ポイントですぐさま同点に追いつく。結局17-15緑が丘のリードで1Qを終了する。

2Q、お互いにルーズボールに飛びつき体を張って止めるディフェンス。お互いに一歩も引かない攻防が観客の視線を集中させる。北見北は#8を経由させてディフェンスが寄って来たら効果的にさばき、ヘルプのよりが甘いと見るやシュートを決める。27-20となったところで緑が丘1回目のタイムアウト。チーム全員がゴールに向かう北見北のオフェンスリバウンドを守れなくなってきた。サイズと個人能力が出始めた北見北が伸び伸びゴールを決めて33-22となったところで、たまたま2回目のタイムアウトを緑が丘がとる。35-25北見北の10点リードで前半を終了する。

3Q始めに得点したのは緑が丘、フリースローを2つ決めて後半がスタートした。その後も#7、#13の連続得点で一気に点差を詰める。その後一進一退の攻防が続く。しかしながら、個々の個人技と能力が高い北見北の点数がなかなか止まらない。苦しい展開に緑が丘は#8をコートに入れて何とかリズムを変えようとする。最後は北見北の#8がピック&ロールからゴール下に飛び込みゴールを決めて58-42。北見北16点リードで最終Qへ。

4Q点差を詰めようとして緑が丘はオールコートでディフェンスプレッシャーをかけ始める。残り、6分北見北#8が4つ目のファウルをおかす。62-48残り4分43秒のところの後半1回目のタイムアウトを緑が丘がとる。何とかプレッシャーをかけたい緑が丘だが落ち着いたボール運びと決定力の高いシュートで北見北が64-48としたところで、緑が丘2回目のタイムアウトを取る。その後、最後のタイムアウトを取り最後の攻防に入った。結局、最後まで試合の主導権を握り続けた北見北が最終スコア68-53で勝利した。北見北の#8を中心としながら全員で得点するパスセットボールが全国大会でどこまで通用するのか非常に楽しみである。